

2025 年 3 月 28 日

各位

株式会社富山第一銀行

長岡工業株式会社の
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、長岡工業株式会社（代表取締役 長岡 伸剛）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することで SDGs 達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対する KPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契 約 締 結 日	2025 年 3 月 28 日
借 入 人	長岡工業株式会社
融 資 金 額	200 百万円
資 金 使 途	運転資金
モニタリング期間	10 年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 長岡工業株式会社

代 表 者	代表取締役 長岡 伸剛
本 社 所 在 地	富山県富山市婦中町速星 451
事 業 内 容	ガス容器検査、ガスプラントの検査・メンテナンス、塗装
設 立 年 月	1969 年 7 月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取 組 内 容	ガスの安心安全な利用への貢献とガス容器の長期利用促進
インパクトの種類	社会面のポジティブインパクトの拡大 環境面のポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「エネルギー」「資源効率・安全性」「廃棄物」
関 連 S D G s	 
対 応 方 針	・検査本数の増加によるガス容器の安心安全な利用への貢献 ・2024年9月よりサービスを開始した容器の付属品であるバルブの再検査を通じたガス容器とバルブの長期利用の促進
毎年モニタリングする目標と KPI	・2027年5月期までに製造から20年以上経過した高圧ガス容器の検査本数を年間9,000本とする。 (2024年5月期：2,430本) ・2027年5月期までに当社が検査する高圧ガス容器（製造から20年以上経過）のうち、バルブの2年検査（※）利用率を55%とする。 ※バルブを追加で2年使用可能となる再検査 (2024年5月期：実績なし)



長岡工業株式会社

株式会社富山第一銀行

代表取締役 長岡 伸剛氏

婦中支店長 安吉 清臣

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：松森

TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：長岡工業株式会社

 **長岡工業株式会社**

2025 年 3 月 28 日

株式会社富山第一銀行

目次

1. はじめに.	2
2. 会社概要.	3
(1) 企業概要	
(2) 経営理念	
(3) 沿革	
(4) 組織図	
(5) バリューチェーン	
3. 事業概要.	8
(1) ガス容器検査	
(2) ガスプラント	
(3) 塗装	
4. SDGs への取り組み.	13
5. インパクトの特定.	16
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリに対応する SDGs	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 富山県の政策・戦略の確認～とやま未来創生戦略の確認～	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
6. KPI の設定.	21
7. 管理体制とモニタリング	24
(1) インパクトの管理体制	
(2) モニタリング方法	

1. はじめに

富山第一銀行は、長岡工業株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、長岡工業株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、長岡工業株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	長岡工業株式会社
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	融資実行日から 3 年間
金額	200 百万円
資金用途	運転資金

2. 会社概要

(1) 企業概要

社名	長岡工業株式会社
代表者	代表取締役 長岡伸剛
本社	〒939-2706 富山県富山市婦中町速星 451
事業内容	< ガス容器検査 > ・ 各種高圧ガス容器の再検査 < ガスプラント > ・ 高圧ガスプラントの検査・メンテナンス ・ 高圧ガス配管の設計・施工 < 塗装 > ・ 溶剤塗装 ・ 静電粉体塗装 ・ カチオン電着塗装
設立年月	1969 年 7 月
資本金	20 百万円
売上高	871 百万円 (2024 年 5 月期)
従業員	105 名 (2024 年 5 月現在)
許可・登録	容器検査所登録 富山県知事 登録番号 第 30-01 号 バルク貯槽くず処理工場認定 一社) 日本溶接容器工業会 認定番号 第 5 号 高圧ガスプラント検査事業者認定 高圧ガス保安協会 KP-20 液化石油ガスプラント II 類 一般建設業 富山県知事許可 (般-31) 第 14643 号 管工事業
事業所一覧	【本社/容器検査部】 〒939-2706 富山県富山市婦中町速星 451 【ガスプラント部】 〒939-2723 富山県富山市婦中町萩島 2967-1 【塗装部 (北陸セイデン)】 〒939-2723 富山県富山市婦中町萩島 2967-1 【塗装部 (中山塗装工芸社)】 〒939-8232 富山県富山市南央町 3-34

保有資格一覧	高圧ガス製造保安責任者 （乙種機械、乙種化学、丙種化学液石、丙種化学特別） 液化石油ガス設備免状 高圧ガス移動監視者講習修了証 KHK（A 種、B 種、C 種） 非破壊検査技量認定 （超音波検査 UT2、磁気検査 MT2、浸透検査 PT2、超音波厚さ測定 1 種 UM1、極間法磁粉探傷 1 種 MY1、溶剤除去浸透探傷 1 種 PD1） アーク溶接技術（JIS Z3801 N-2F、JIS Z3801 N-2P） ステンレス鋼溶接技術 （JIS Z3801 CN-FJIS Z3801 CN-PJIS Z3801 TN-FJIS Z3801 TN-P） 溶接管理技術者（WES.8103） 溶接作業指導者（WES.8107） 旋盤 ガス溶接技能講習会修了者 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 化学設備関係第一種圧力容器取扱作業主任者 一般高圧ガス検査主任者講習 危険物取扱主任者（甲種、乙種 4 類） 特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 有機溶剤作業主任者 乾燥設備作業責任者 粉じん作業特別教育 大型自動車免許 フォークリフト運転技能講習 はい作業主任者 小型移動式クレーン特別教育 床上操作式クレーン運転技能講習 玉掛技能講習 道路交通法安全運転管理者 第 1 種衛生管理者 簿記（工簿 1 級、2 級、3 級）
--------	--

(2) 経営理念

<社是>



社会の御恩に感謝し、 進んで社会のお役に立とう

私たちが社会の一員として会社を営むことができるのは、
お客様や支えてくれている家族、そして周囲のみなさまのおかげです。
そのような多くの方に感謝をし、社会の発展のために
自らが率先して役に立てよう行動していくことが大切であると考え、社是としました。

<今年の方針>

2025年の言葉

「うまくいくまでやってみよう」

徒歩よりも自転車、自転車よりも自動車の方が
速く、遠くまで移動することができる
ただ、乗りこなすためには練習する必要がある。

でも、その練習の時間に見合う対価があると
信じているから、できるまで頑張ることができる。

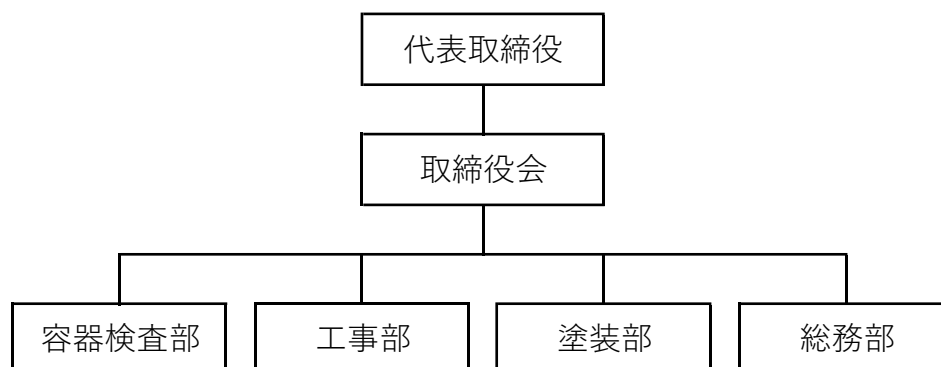
新しい取り組みで、すぐに目に見える成果を
感じるができなくても、今よりも良くなると
信じて続けていけば必ず良い結果に結びつく。

どのようなことでも途中であきらめることなく
「どうしたらうまくいくかを考え続け」
行動していく年としよう。

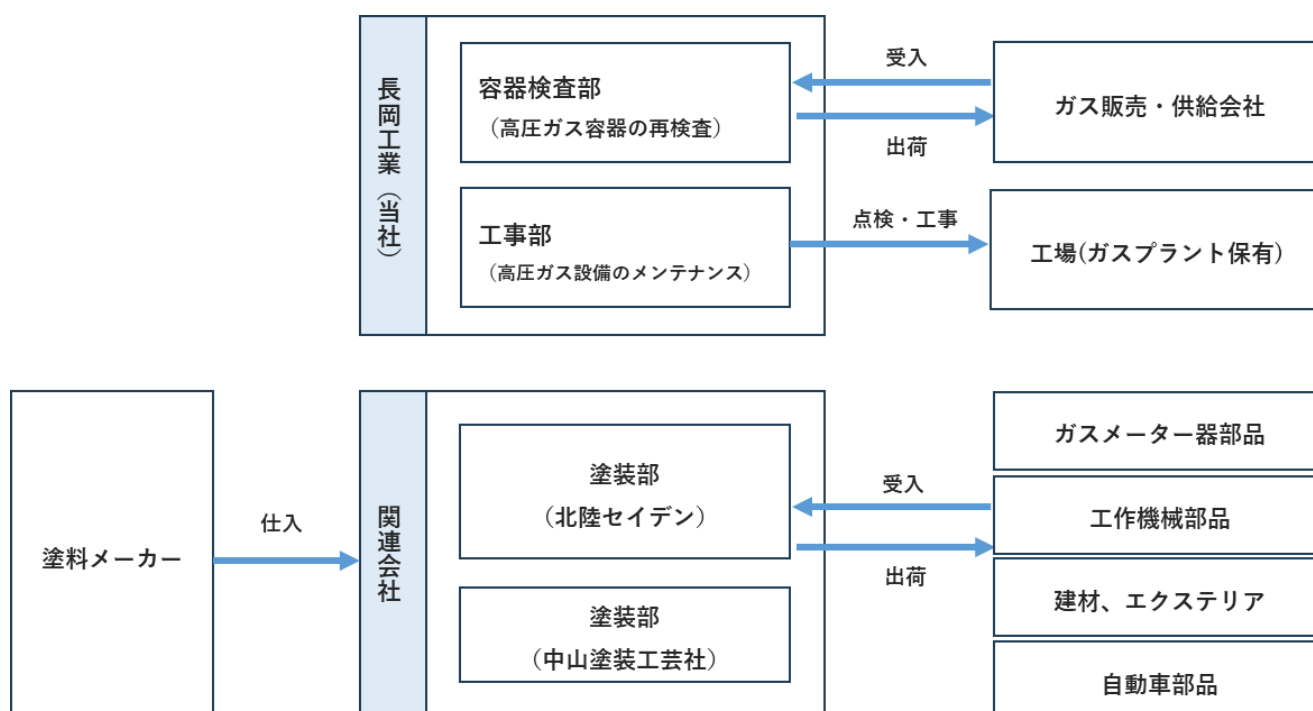
(3) 沿革

年	概要
1963 年	初代社長、長岡国男が日産化学工業株式会社富山工場を退社し、同工場の液化アンモニアの容器・タンクローリー車への充填作業及びアンモニア容器の再検査作業の業務請負を開始
1969 年	富山県富山市婦中町速星に資本金 125 万円をもって、長岡工業株式会社を設立
1970 年	資本金を 500 万円に増資
1972 年	容器検査工場を設立、高圧ガス容器検査所の登録と LP ガス容器再検査業務を開始 工事を発注し、LP ガスプラント保安検査・開放検査業務を開始
1974 年	資本金を 1,000 万円に増資
1977 年	工事が高圧ガス保安協会より「LP ガスプラント検査会社」として認定される
同年	容器検査工場内に一般高圧ガス容器再検査所を設置
1981 年	資本金を 2,000 万円に増資
1982 年	工事を富山市婦中町萩島に移転
同年	富山市婦中町萩島に塗装工場を設立 塗装部として静電塗装業務を開始
1989 年	塗装部を独立させ、株式会社北陸セイデンを設立 同社社長に、長岡国男が就任
1990 年	株式会社北陸セイデン第 2 工場を設立
1996 年	長岡工業株式会社 2 代目社長に、長岡壯登裕が就任
同年	株式会社北陸セイデン第 3 工場を設立
1997 年	株式会社北陸セイデン 2 代目社長に、柞山幹雄が就任
1998 年	容器検査工場の一般高圧ガス容器再検査所を増築
2003 年	株式会社北陸セイデン 3 代目社長に、長岡壯登裕が就任
2010 年	株式会社北陸セイデン第 4 工場を設立
2019 年	独身寮を設立
2020 年	株式会社北陸セイデン第 5 工場を設立 同建物に工事部事務所と株式会社北陸セイデン事務所を内設
同年	長岡工業株式会社 3 代目社長に、長岡伸剛が就任

(4) 組織図



(5) バリューチェーン



3. 事業概要

(1) ガス容器検査

高圧ガスの容器は、漏えいによる危険防止のため、一定期間ごとに再検査を受けることが法令で定められている。また、検査で不合格となった容器や廃棄依頼の容器は、くず化処分している。当社で取り扱っている容器は、大別すると以下の2種類となる。

①LP ガス容器（家庭用容器、LP ガス自動車用容器、フォークリフト用容器、大型容器）

②一般ガス容器（酸素、窒素、アルゴン、炭酸、亜酸化窒素、水素）など



<ガス容器再検査基準> ※容器保安規則より

製造経過年数 容器種類	20 年未満	20 年以上	備考
25L 以下の溶接容器	6 年	2 年	10 kg 以下の容器
25L 超の溶接容器	5 年	2 年	20 kg 以上の容器
自動車燃料用容器	6 年	2 年	着脱して充填する容器は除く

高圧ガスによる災害を防止するための法律が「高圧ガス保安法」であり、ガス容器については省令である「容器保安規則」にて規制されている。一般に流通しているガス容器の大半が 25L 超の溶接容器（20 kg 以上の容器）であり、当社が主に扱うガス容器もこの容器となる。

上記に記載のあるように、製造から 20 年未満であれば 5 年ごと、製造から 20 年以上経過で 2 年ごとに容器検査が義務付けられている。

<付属品（バルブ）再検査基準> ※容器保安規則より

	製造経過年数 容器種類	6 年 6 ヶ月以下	6 年 6 ヶ月超 7 年 6 ヶ月以下	7 年 6 ヶ月超
i	4,000L 以上の容器に 装着されている付属品	検査日から 2 年を経過し 最初に受ける容器再検査の日まで		
ii	4,000L 未満の容器に 装着されている付属品 (iii, iv を除く)	検査日から 2 年を経過し 最初に受ける容器再検査 の日まで	1 年	
iii	自動車燃料用容器に 装着されている付属品	検査日から 2 年を経過し最初に受ける 容器再検査の日まで		1 年
iv	容器に装着されていない付属品	検査から 2 年	1 年	

ガス容器と同様に、容器の付属品であるバルブについても検査が義務付けられている。世間に広く流通し、当社での主な取り扱いとなるバルブは上記 ii に該当するが、製造から 6 年 6 ヶ月以下であれば、「検査日から 2 年を経過し最初に受ける容器再検査の日まで」が再検査期限となる。

通常は 5 年検査（製造 20 年未満のガス容器）で新品バルブに取り替えられて、使用期間が終わるものだが、2 年検査（製造 20 年以上のガス容器）ではバルブも再検査してさらに 2 年間使用することが可能となる。

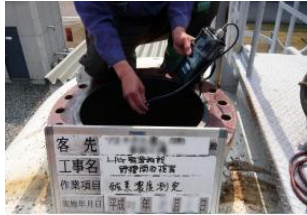
<長期利用の拡大に向けた取り組み>

当社はSDGsや環境負荷軽減を意識し、ガス容器・バルブを検査しながら出来るだけ長期間利用してもらう取り組みを進めている。具体的には、新品のガス容器購入費用が上昇傾向にある中、従来は同額であった5年検査費用と2年検査費用に差を設け、顧客にインセンティブを設定することで製造から20年が経過した容器を引き続き使いやすくなる仕組みとした。検査しながら長く使うことで、SDGsや環境負荷軽減に寄与することはもちろん、顧客のトータルコスト低減にもつながる。当社としては検査単価が減少するが、5年から2年に検査スパンが短くなることで検査の機会が増え、収益の維持・拡大が可能となる。当社、顧客、社会のすべてにとってメリットのある取り組みであり、この動きを加速させていく方針。

容器の長期間利用には2年検査費用を安価にするだけでなく、新品バルブの購入価格が容器同様に上昇している中、バルブ自体も再検査して継続利用していくことが重要となる。（バルブの再検査費用は新品購入費用に比べて大幅に抑えられるため）また、これらの取り組みを推進する上で、社内体制として容器・バルブの検査能力向上（キャパシティ・精度とも）も必要になる。バルブを再検査する機器の導入、有資格者の確保・育成、業務・管理体制の厳格化、作業環境の改善など多岐に渡る課題があるが、順次対応を進めている段階にある。

(2) ガスプラント

各種工場における高圧ガス設備のメンテナンスを行っている。下記は高圧ガス設備の開放検査の流れ。

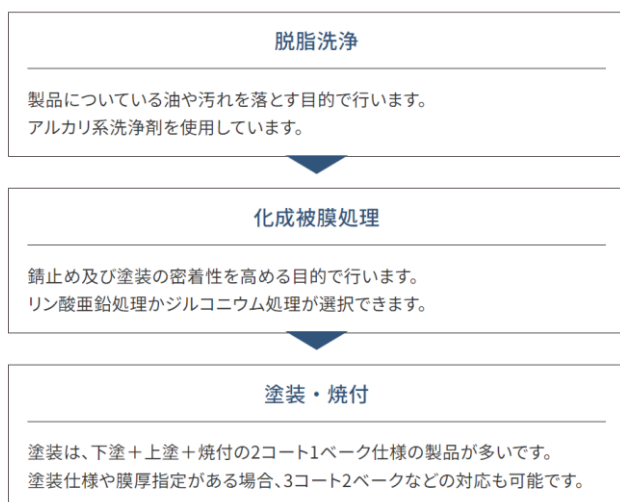
1.残液処理 残ガス処理	2.貯水槽置換	3.不同沈下測定	4.酸素濃度測定	
貯槽内部に残っているLPガスをローリーなどで回収した後、残っているガスを燃焼させ内部を空にする	貯槽を満水にし、内部にガスが残らないようにする	重量で貯槽が沈下しないかを測定し、水を抜く	水を抜いたのちに酸素濃度を測定し、内部作業に入る	
				
5.非破壊検査	6.弁類取り外し 弁類分解点検	7.弁類気密検査 弁類作動検査	8.弁類取り付け	9.貯槽気密検査
貯槽本体や溶接部分が腐食していないか超音波や磁力を用いて測定する	各種弁類を外し、社内にてメンテナンスする 汚れや異物を除去し、パッキンなどを交換する	分解整備した弁に漏れがないか確認し、正常に作動するか試験する	メンテナンス後の弁を貯槽に取り付ける	漏れがないか確認する
				

(3) 塗装

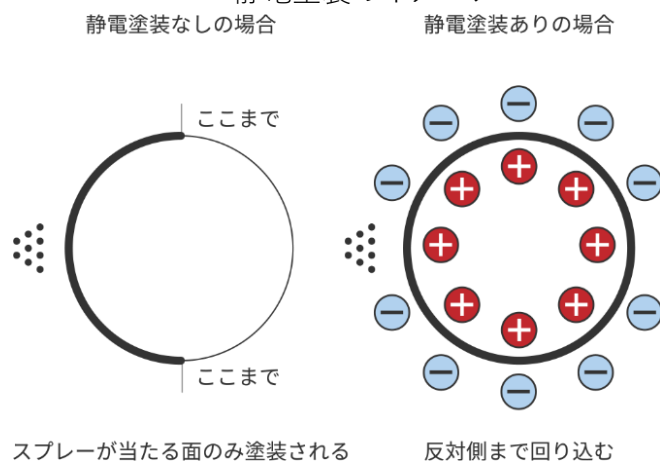
当社では“静電気”を活用して塗装を行っている。静電気の活用により、塗料の付着効率が上がる、塗料の廃棄が少なくなるなど効率性と環境性能を両立している。富山県内では最も多い、8本の塗装ラインを有しており、バスやショベルカーなどの建設車両、建物部品などを塗装している。

塗装だけではなく、塗料が付着したハンガーや治具の塗装剥離や塩水噴霧試験やキャス試験、複合サイクル試験などの塗膜試験にも対応している。

< 塗装工程の一例 >



< 静電塗装のイメージ >



塗装の種類	特徴
①焼付塗装	加熱によって硬化する樹脂が使われた塗料で、塗装を行う方法。自動車部品や建材、スチール家具などは焼付塗装が施されている。仕上がりが美しく、強度も高いのが特徴。
②粉体塗装	1回の塗装で50～60ミクロン以上の厚い塗膜ができる点と、揮発性有機溶剤(voc)が含まれておらず、環境に優しい点が特徴。粉体という名前の通り、塗料は粉でできている。
③カチオン電着塗装	電着塗料という専門の塗料が入った水の中に、塗装したい製品を入れて電気を流して塗装を行う方法。防錆性が非常に高く、複雑な形でもムラなく塗装が可能。

4. SDGs への取り組み

当社では「ワークインライフの推進で人生を HAPPY に！」のスローガンのもと、SDGs に関わる活動に積極的に取り組んでいる。従業員のモチベーション向上や人材確保、従業員教育、地域貢献、認知度・企業価値向上などの目的を掲げ、多種多様な活動を展開している。

① 各種講習

健康セミナーやハラスメント講習、AED 講習、防災訓練など多岐に渡るテーマで講習を定期的に行っている。講師は原則、外部講師を招聘することで、専門性を担保している。また、グループワークも組み入れることで、和やかでありながら、実効性のあるものを目指している。

健康セミナー…健康チェックカードで自らの健康度合いをチェックする。実際に身体を動かしながら、心・体・技の観点から点数化し、健康への意識向上を図る。「会社の力の源は社員」という信念のもと、健診オプション補助や健診後のフォロー、入院保険への加入なども行っている。重量物であるガス容器を取り扱うこと、工場での現場作業が存在すること等も考慮して、従業員の健康増進を戦略的に推進している。



パワハラ講習…企業規模を問わず、ハラスメントに対して厳格な対応が求められる中、クイズやグループワークも交えながら改めて理解を深めている。一般論だけでなく、ハラスメントに関する社内制度・窓口、対処方法についても周知・徹底している。



AED 講習…社屋に AED を設置したことを受け、従業員が適切に使用できるよう、救命救急士を招いて講習会を開催した。AED の使用方法とあわせて、呼吸の確認や胸骨圧迫などの心肺蘇生についても学んでいる。



② サッカーボール寄贈

地域貢献活動の一環として、また未来を担う小中学生を応援する意味も込めて、地元の小中学校にサッカーボールの寄贈を行っている。このサッカーボールは当社が協賛している地元のプロサッカーチーム「カタレ富山」のもので、ボールには当社ロゴも入っている。当社所在地である富山市婦中町の小中学校を中心に、のべ8校に50球を寄贈した。



③ カンガルー出勤（子連れ出勤）

子育て中の従業員が働きやすい職場を目指しており、その一環としてカンガルー出勤（子連れ出勤）を2019年から導入している。小学校の夏休みや保育園から子どもを引き取った後など、どうしても預ける場所がないときに子どもを近くで見ながら働ける制度で、従業員の働きやすさ向上に寄与している。



④ 危険予知活動・美化活動

「自分たちの職場は自分たちの手で良くする」という思いのもと、毎月継続的に危険予知活動・美化活動を行っている。危険なポイント（いつ、どこで、何が、どうなる）を明確にし、どのように改善したかを全社的に共有している。ささいなことや小さなことであっても、継続することで着実に職場環境の改善に繋がっている。

作業改善活動表 7月 容器検査グループ3

グループの作業内容		レタロボ入ロセンサー	
改善前		改善後	
（いつ）どこで	（何が）どうなる	（いつ）誰が	（どのように）どうする
			
レタロボ入ロセンサー20k用が、汚れにより誤作動することがあった。		センサー横に段ボールを立てかけることで、センサーに粉塵が入りにくくなった。	

危険予知活動表 6月 容器検査グループ1

グループの作業内容		指詰め防止	
危険のポイントはこれだ		だから私たちはこうする	
（いつ）どこで	（何が）どうなる	（いつ）誰が	（どのように）どうする
 18時以降はなし パルプの取り付け作業の際、指を挟み・挟みやすい状態がある。		 ① 指詰め防止の注意喚起を作業場によく見える位置に表示する。 安全意識を向上させ誤り防止を図る。	
			
			

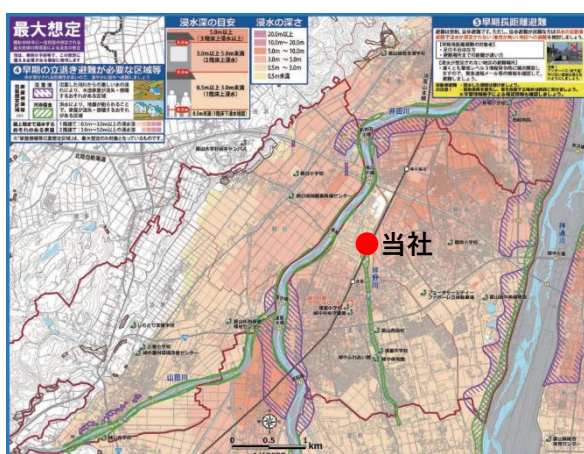
⑤ 各種イベント

従業員のコミュニケーション促進や親睦、リフレッシュを目的に BBQ やピザ作り、ボウリング、花火鑑賞など各種イベントを開催している。改装した事務所も活用し、従業員満足度の向上に努めている。

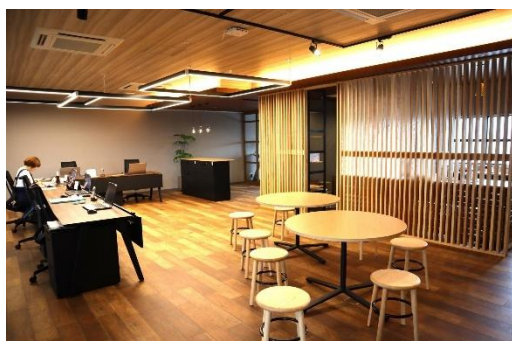


⑥ 事業継続・事務所改装

当社の所在地はともに一級河川である神通川と井田川に囲まれており、富山市が示す洪水ハザードマップにおいても床上浸水の危険性が高いエリアとなっている。最大想定では 5m の浸水、浸食による家屋流出・倒壊のおそれがある。実際に過去 3 回、築 50 年の木造事務所が床上浸水の被害を受けており、安全確保や事業継続の観点から対策を検討してきた。2022 年に事務所を鉄筋コンクリートの倉庫 2 階へ移転・改装し、災害への対策を講じた。事業継続力の向上に加え、カフェ風の内装とし従業員の働きやすさも意識した改装を行った。



ハザードマップ（左）と過去の浸水被害時の様子（右）



移転・改装した新事務所

5. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社の事業内容とバリューチェーンの分析結果をもとに主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施。ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

当社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「金属製品修理業（3311）」「機械修理業（3312）」を適用した。また、川上の事業には「ガス製造業、導管によるガス燃料配給業（3520）」を、川下の事業には「精製石油製品製造業（1920）」「基礎化学品製造業（2011）」「ガス製造業、導管によるガス燃料配給業（3520）」を適用した。なお、塗装部門については関連会社が主体で実施していること、事業全体に占める割合が小さいこと等を考慮してマッピングの対象外とした。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリ、「◆」は影響があるカテゴリを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

		川上の事業		当社の事業				川下の事業					
国際産業標準分類		3520		3311		3312		1920		2011		3520	
		ガス製造業、導管による ガス燃料配給業		金属製品修理業		機械修理業		精製石油製品製造業		基礎化学品製造業		ガス製造業、導管による ガス燃料配給業	
インパクトカテゴリ		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）			◆		◆							
	食糧												
	住居	◆										◆	
	健康・衛生	◆	◆◆						◆		◆◆	◆	◆◆
	教育												
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー	◆◆						◆				◆◆	
	移動手段							◆					
	情報												
	文化・伝統												
	人格と人の安全保障												
	正義・公正												
環境	強固な制度・平和・安定												
	水（質）		◆	◆		◆			◆◆		◆◆		◆
	大気		◆	◆		◆			◆◆		◆		◆
	土壌		◆	◆		◆					◆◆		◆
	生物多様性と生態系サービス		◆◆	◆		◆							◆◆
	資源効率・安全性		◆◆	◆◆		◆◆			◆		◆		◆◆
	気候		◆◆	◆		◆			◆◆		◆		◆◆
経済	廃棄物		◆	◆	◆		◆		◆		◆		◆
	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆		◆		◆	
	経済収束	◆◆		◆		◆						◆◆	

インパクトマッピングにおいて、ポジティブとして重要な影響があると考えられるインパクトカテゴリは「資源効率・安全性」、影響があると考えられるインパクトカテゴリは「雇用」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」「包括的で健全な経済」が挙げられた。ネガティブとして影響があると考えられるインパクトカテゴリは「雇用」「廃棄物」が挙げられた。また、当社事業のマッピングには発現しないものの、当社は主要エネルギーの1つであるガスに関わる事業を展開しており、「エネルギー」（ガスの利用）におけるポジティブな影響が存在すると考えられる。なお、「水（入手）」「経済収束」は当社事業との関連性が希薄のため、分析対象外とする。

当社はガス容器の検査やガス設備のメンテナンスを通じて、家庭や事業者向けのガスの安心安全な利用に貢献している。ガスは家庭においては調理や入浴、暖房等として、事業所では生産活動の重要なエネルギー源として活用されている。いずれも日常生活・経済活動の根幹部分であり、当社の事業は川下事業や社会における「エネルギー」「資源効率・安全性」「住居」「健康・衛生」「包括的で健全な経済」のポジティブインパクトの拡大に寄与している。

また、当社は単に検査するだけでなく容器の長期利用を実現することで、業界の先駆者かつ業界をリードする立場として、環境負荷の軽減に積極的に取り組んでいる。新品ガス容器の費用が上昇傾向にある中、ガス容器を長く利用することは製造・廃棄時に発生する環境負荷を減らせるだけでなく、ユーザーの金銭的負担も軽減できる。ガス容器の長期利用は検査スパンが短くなるが、その検査費用を当社が引き下げることで買い替えではなく、検査しながら継続利用することを促している。これらの取り組みは「資源効率・安全性」「廃棄物」における環境面のポジティブインパクトの拡大に寄与している。また、新たな資源ニーズを抑制し、各種環境汚染や生態系への影響を軽減するという点で「水（質）」「大気」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」のポジティブインパクト拡大にも寄与している。

ガスに携わることは上記のようにポジティブな側面がある一方で、爆発の危険性や人体・環境への悪影響が懸念されるなど、ネガティブな側面も大きい。当社においては適切かつ安全に業務遂行することを徹底し、さらに定期的な講習やセミナーを開催することで安全や健康への意識向上を図っている。これらの取り組みは「雇用」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与している。また、ガス容器検査においては、容器を回収する中で残ガスが残っているケースも多い。この残ガスを自社エネルギーとして事業活動に利用できるものは、最大限に有効活用している。これらの取り組みは当社事業のマッピングには該当しないものの「資源効率・安全性」「気候」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与している。

「ワークインライフの推進で人生をHAPPYに！」のスローガンのもと、危険予知活動・美化活動、各種懇親会・イベント、寄付・寄贈活動など多岐に渡るSDGs活動を展開している。スキルアップにつながるもの、働きがい・働きやすさの向上につながるものなど内容は様々であるが、従業員が長く働ける要因のひとつとなっている。また、既存の従業員だけでなく、新規採用面でも寄与しており継続的に社員の採用実績を上げている。今後も従業員の意見を参考に、斬新かつ効果的な活動を展開していく方針である。これらの取り組みは「雇用」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与している。

(2) インパクトカテゴリに対応する SDGs

当社の売上高は全て日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから当社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs は下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 4 項目のうち、2 項目が大きな課題が残る、2 項目が重要な課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 4 項目全て該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。



出典：SDGs ダッシュボード

(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略の確認～

富山県は、約 4,248 km²の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000m の「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m 級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かな多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を想像するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力のあるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 4 の活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりにおける、③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりでは、豊かで快適な環境づくりと安全・安心の確保を掲げており、当社が行うガス容器の検査やガス設備のメンテナンスは、ガスというインフラの安心安全な利用に結び付いており、社会・経済活動の根幹を担っている。富山県の目指す「持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり」に大きく貢献している。

また、当社の多岐に渡る SDGs 活動の展開では、従業員の働きがい創出や働きやすさの向上につながっており、富山県が基本目標 3 の中に掲げる多様な人材の確保育成、労働生産性の向上に寄与する取り組みと言える。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備 ① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進 (ア) 結婚・妊娠・出産支援 ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ○ライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・UJターンへの促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備 (イ) 家庭・地域における子育て支援 ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 ○子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減 (ウ) 職場における子育て支援 ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進 ② 働き方改革を通じた働きやすい生活の実現による少子化対策の推進 (ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進など働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参画の促進	基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進 ① 産業・地域経済の活性化 (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 農林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成 ② 若者や女性が働き、学び、豊かに暮らせる魅力ある地域づくり (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創生 ③ 観光の振興 (ア) 選ばれ続ける観光地づくり (イ) 富山のブランド力アップ ④ 移住・定住の環境づくり、応援人口の創出・拡大等 (ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 応援人口の創出・拡大 (ウ) 多様な形態を通じた地域企業への人材の展開・選抜につながる取組み支援	基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上 ① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり (ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援 ② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現 (ア) 元気な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出 ③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり (ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり ④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上 (ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高度化・高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上	基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり ① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり (ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり ② 人生100年時代を見据えた人づくり (ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) リカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (キ) 「心の元気」を醸成する文化の振興 ③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり (ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保 ④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現 (ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠なサービスの確保
--	--	---	--

出典：富山県 第2期とやま未来創生戦略

（５）インパクトの特定

- ガスの安心安全な利用への貢献とガス容器の長期利用促進
- 事業活動における環境負荷軽減の取り組み強化
- 誰もが働きがいを持ち、長く働ける職場環境の実現

（６）特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや富山県のとやま未来創生戦略のニーズや方向性等を踏まえて、同社と特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「ガスの安心安全な利用への貢献とガス容器の長期利用促進」「事業活動における環境負荷軽減の取り組み強化」「誰もが働きがいを持ち、長く働ける職場環境の実現」である。富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の４点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「ガスの安心安全な利用への貢献とガス容器の長期利用促進」では、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「事業活動における環境負荷軽減の取り組み強化」では「3.環境保全」という観点で、「誰もが働きがいを持ち、長く働ける職場環境の実現」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じて SDGs 達成に向けた取り組みの支援を目指す。

6. KPI の設定

● ガスの安心安全な利用への貢献とガス容器の長期利用促進

当社はガス容器検査やガス設備のメンテナンスを通じて、社会・経済活動を支える役割を担っている。今後は、ガス容器とバルブの検査数を増加させ、安心安全にガスが利用できるようにすることで社会面のインパクトの拡大を目指す。また、ガス容器検査の業界をリードする立場として、ガス容器とバルブの長期利用を促進することで環境面への貢献も同時に実現していく。

項目	内容
インパクトの種類	社会面のポジティブインパクトの拡大 環境面のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「エネルギー」「資源効率・安全性」「廃棄物」
関連 SDGs	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任 
対応方針	・ 検査本数の増加によるガス容器の安心安全な利用への貢献 ・ 2024 年 9 月よりサービスを開始した容器の付属品であるバルブの再検査を通じたガス容器とバルブの長期利用の促進
KPI	・ 2027 年 5 月期までに製造から 20 年以上経過した高圧ガス容器の検査本数を年間 9,000 本とする。 (2024 年 5 月期：2,430 本) ・ 2027 年 5 月期までに当社が検査する高圧ガス容器（製造から 20 年以上経過）のうち、バルブの 2 年検査（※）利用率を 55%とする。 ※バルブを追加で 2 年使用可能となる再検査 (2024 年 5 月期：実績なし)

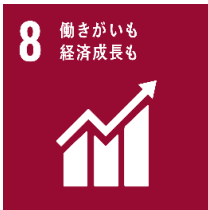
● 事業活動における環境負荷軽減の取り組み強化

エネルギーに関わる事業者として本業での貢献だけでなく、自らの事業活動が及ぼす影響を把握・管理し、環境負荷軽減の取り組みを強化する。

項目	内容
インパクトの種類	環境面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」
関連 SDGs	12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に 具体的な対策を 
対応方針	・ 高効率設備への入替やグリーン電力の購入等による CO2 排出量の削減 ・ 容器回収した残ガスの自社利用を通じたエネルギーの有効活用
KPI	・ 2027 年 5 月期までに年間 CO2 排出量を 2024 年 5 月期比 29t-CO2 削減する。 (2024 年 5 月期：年間排出量 96t-CO2) ・ 残ガス利用率実質 100% (※) の維持。 ※不純物を取り除いた残ガス全ての再利用

● 誰もが働きがいを持ち、長く働ける職場環境の実現

当社は従来より危険予知活動・美化活動、各種懇親会・イベント、寄付・寄贈活動など多岐に渡る SDGs 活動を展開しているが、これらの取り組みを継続・強化していくことで従業員の働きがい創出や働きやすさの向上を目指していく。スキルアップ支援に加えて、仕事と家庭の両立支援を行うことで、勤続年数の伸長を目指す。

項目	内容
インパクトの種類	社会面のポジティブインパクトの拡大 社会面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連 SDGs	
対応方針	・ SDGs 活動（危険予知活動・美化活動や懇親会等）の取り組み強化による働きやすい職場の実現 ・ 業務知識やスキル向上に資する講習・セミナー（国家試験対策講習や安全セミナー等）の開催 ・ 仕事と家庭の両立支援（各種制度の利用促進）
KPI	・ 2027 年 5 月期までに入社後 3 年以内定着率を 90%とする。 (2024 年 5 月期：84%) ・ 従業員向け講習・セミナー開催回数を年間 10 回以上とする。 (2024 年 5 月期：年間 5 回) ・ 育児休業取得率 100%の維持。 (2024 年 5 月期：100%)

7. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役の長岡様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、容器検査部の石畑様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 長岡伸剛
管理責任者	容器検査部 部長 石畑雅章
管理部署	容器検査部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI の達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上、再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が長岡工業株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871